

分野	授業教目名	単位数	時間数	履修時期	担当教師
専門分野 I 基礎看護学	36 看護学概論	1	30	1年次前期	小田 初美

テキスト(発行所)	看護学概論(メディカ出版)
テキスト以外の教材、参考図書	1.「キラリ看護」 2.「看護覚書き」 3.「看護の基本となるもの」 4. その他適宜プリントを使用

学習のねらい	専門分野 I の基礎看護学は、他の看護学の考え方の基盤となる分野である。看護の主要概念である、人間・環境・健康・看護について学び、看護の本質、看護とは何か、またそれがどのような方向に発展しつつあるかを共に考える。看護実践の基盤となる看護観を培う。
学習目標	1. 看護の概念について理解する。 2. 看護の対象である人間を統合体として理解する。 3. 健康の概念を理解し、健康レベルに応じた看護の役割・機能について理解する。 4. 保健・医療・福祉における看護の役割を理解する。 5. 看護倫理に関する基本的知識を理解する。 6. 看護の変遷について理解し、今後の看護の課題と展望について考える。 7. 自己の看護観を深化させていくことができる。

学習スケジュール

回数	主題	学習内容	履修形態 他
1回	どのような看護を目指すのか?	1. 看護師であるということ 1) 看護師のイメージ・目指す看護師像 2) 専門職としての看護	DVD鑑賞 「プロフェッショナル」
2回	看護師は何をしているのか?	1. 看護の定義 2. 看護職の資格と責任と業務	講義
3回 4回	看護の対象の『人間』とは何か?	1. 人間の諸側面と環境 2. 人間の基本的欲求 3. 人間の成長・発達 4. 他者理解・自己理解	講義 個人ワーク
5回 6回	看護師が向き合う『健康』とは何か?	1. 健康観 2. 健康の定義 3. 健康障害とその影響	講義 個人ワーク
7回 8回	看護は何を目的とし、どのような役割があるのか?	1. 健康レベルと看護の目的 2. 看護の役割・機能 3. 疾病の経過と看護 4. 保健・医療・福祉における看護の役割 5. 看護実践の場	DVD鑑賞 「あなたの声が聴きたい」 講義

9回 10回 11回	看護師は何を守るのか？ 何に悩むのか？	1. 看護倫理とは 2. 看護倫理に関する基礎知識 3. 倫理的意思決定 4. 看護者の倫理綱領 5. 看護上の倫理的問題	講義 事例検討
12回	看護理論って何なのか？	1. 看護理論とは 2. 看護理論の分類 3. 主な理論家とその理論	講義
13回	看護師はなぜ専門職と言えるのか？	1. 看護過程とは 2. エビデンスに基づく看護 3. 看護技術 4. 看護研究	講義
14回	看護はどのような歴史をたどってきたのだろう？	1. 看護の変遷	講義
15回	これからの看護に求められているものは何なんだろう？	1. 現代の看護教育制度 2. 現代の医療・看護に求められるもの 3. 今後の課題と展望	講義

単位認定の方法	<p>1. 30時間のうち、24時間以上の出席があること</p> <p>2. 終講テスト・・・70点</p> <p>3. 「キラリ看護」の感想・・・10点 800～1200字程度 締め切り:5月13日(木)13時</p> <p>4. DVD[あなたの声が聞きたい]についてのレポート・・・5点 締め切り:後日提示</p> <p>5. 夏期休暇中課題レポート・・・10点 締切:後日提示</p> <p>6. ポートフォリオ・・・ 5点</p> <p>①日々の学習内容を時系列にファイルする。1点</p> <p>②自己学習の成果がわかる。2点</p> <p>③本科目の学びと成長について、400字程度にまとめる。2点</p> <p>※ポートフォリオの提出は終講試験の翌日、指定時間までに小田に提出する。</p> <p>合わせて60点以上で合格とする。</p>
受講上のアドバイス	<p>本講義では、看護とは何か、看護師はどのような役割を担い、どのように実践していくのかなど大まかな看護の輪郭をつかんでほしいと考えています。これらは、今後学んでいく看護学の基盤となるもので、どの領域の看護学にも共通していることです。</p> <p>本講義は、何かを覚えるというよりも、“考える”ことを大切にしたいと思っています。まずは自分で考え、文字に表し、人に伝え、他者の考えを聴く機会を多く持ち、看護についての考えを広げ深めていってほしいと願っています。</p>
担当教員の 実務経験	病院で看護師としての実務経験あり